

氏名	善生 まり子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	1991年北里大学看護学部、1999年北里大学大学院 看護学研究科 修士課程(健康看護学)、2017年北里大学大学院 看護学研究科 博士後期課程(看護生涯教育学)				
経歴	1991年学校法人北里研究所北里大学東病院消化器外科(看護師)、1992年富士宮市役所保健センター(保健師)、1996年秋田市医師会立秋田看護学校(専任教員)、1997年秋田大学医療技術短期大学部看護学科(助手)、1999年学校法人北里研究所北里大学東病院 治験管理センター(看護師:非常勤)、保健同人社 電話相談(保健師:非常勤)、2001年公立大学法人埼玉県立大学 保健医療福祉学部看護学科(助手)、2005年同大学(講師)、2014年同大学(准教授)				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本在宅ケア学会、日本老年看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本認知症ケア学会、日本保健医療福祉連携教育学会、日本看護学教育学学会、日本看護学会				

### 【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	老年看護学の実習指導者に必要な知識と学生の学びが深まる指導方法	単著	日総研、臨床老年看護 11・12月号、81-88	善生まり子	2018.11
2					
3					
(2) 論文					
1	在宅移行期支援における退院調整看護師の実践の構造～専門職連携カンファレンス場面を中心として～	単著	北里大学リポジトリ、1-123	善生まり子	2018.4
2					
3					
(3) 学会発表					
1	Facilitation towards health literacy contribute to frail prevention among community-living older adults: An Interprofessional Work based project(ポスター発表)	共著	International Forum on Quality & Safety in Health Care, Amsterdam	○Mariko Zensho, Osamu Fujinawa, Koji Sugano, Ryo Kubota, Toyo Kikumoto, Hiromi Nakamura-Thomas, Hiroko Kohara, Yuko Morikagi, Hajime Toda	2018.5
2	Effects of the frailty prevention program to promote health literacy for elderly women(口頭発表)	共著	1st International China Conference on Frailty, Shanghai	○Mariko Zensho, Osamu Fujinawa, Koji Sugano, Ryo Kubota, Toyo Kikumoto, Hiromi Nakamura-Thomas, Hiroko Kohara, Yuko Morikagi, Hajime Toda	2018.9
3	基本チェックリストからみる高齢女性のフレイルの特徴	共著	第38回日本看護科学学会学術集会、松山市	○善生まり子、森鍵祐子、小原弘子	2018.12
4	Characteristics of lifestyles of the frailty prevention among community-dwelling elderly women of positive attitude toward health promotion activities(ポスター発表)	共著	9th International Conference on Frailty & Sarcopenia Research (ICFSR2019)	○Mariko Zensho, Osamu Fujinawa, Koji Sugano, Ryo Kubota, Toyo Kikumoto, Hiromi Nakamura-Thomas, Hiroko Kohara, Yuko Morikagi, Hajime Toda	2019.2

(4)その他				
1	老来たりてもわが町、わが家でずっと素敵に暮らそうよ	単著	女性研究者・技術者紹介集 12ページ、彩の国女性研究者ネットワーク(主催:埼玉大学)小冊子	善生まり子 2018.12
2	若者の健康を支え・守る担い手としてのシニア世代のフレイル予防やヘルスリテラシーを促すプログラムの提案～人にやさしい社会を考える～	単著	埼玉県立大学産学連携と研究シーズ2018、8ページ、埼玉県立大学ホームページ	善生まり子 2018.6
3				
2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		フレイル予防に資する地域高齢者ヘルスリテラシー促進の様相:IPW支援プロジェクト、研究代表者	2016.4～2019.3(予定)
3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1)講義				
1	老年看護学Ⅲ(高齢者と地域)	2019.1	科目責任者として、老年看護学実習Ⅱの体験のリフレクションを通して地域包括ケアシステム下における看護職の役割を教授した。地域・老年看護の高度専門家のゲストスピーカー2名を招き、現在上映中の認知症高齢者と家族のドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」を学習教材とした。	
2	老年看護援助論 博士前期課程	2018.10	退院支援と在宅支援に関する看護職の専門性(実践課題)や研究課題について教授した。	
3				
(2)演習				
1	老年看護学Ⅱ(高齢者と家族)	2018.4～2018.7	科目担当者として、看護過程の展開のグループワーク、講義(援助のリフレクション)、実技演習(清潔援助)に関わった。	
2	IPW演習	2018.10～2019.2	科目担当者として、全体オリエンテーション時に「葛藤と合意形成」の講義を担当し、多学科3年生とコミュニケーションを図ることで学習進捗を理解しながら、IPWの目的・目標、プロセスにそって指導や助言を行った。	
3				
(3)実習				
1	老年看護学実習Ⅰ	2018.4～2018.6	科目担当者として、老人福祉センターにて、学生が健康・元気な高齢者の対象特性を理解し、コミュニケーションがとれるよう指導した。	
2	老年看護学実習Ⅱ	2018.10～2018.12	科目担当者として、回復期リハビリテーション病棟に入院している高齢患者や看護の特性が理解し実践できるよう臨地実習指導者と共に指導した。	
3	総合実習	2018.4～2018.8	地域包括ケアシステム下において、認知症者はじめ要介護高齢者への看護実践および療養病床での入院環境を整える看護実践について学びを深めるため5回のゼミを実施し、病院実習指導、報告会の指導や講評を実施した。	
4	IPW実習	2018.8～2018.10	特別養護老人ホーム(加須市)を担当し、施設ファシリテーターのサポートを受けながら、5学科の学生5名が利用者(90歳代の高齢女性)のケアプランや支援の目的について十分検討し表現できるよう助言し環境を整えた。	
(4)論文指導				
1	修士課程	2018.4～2019.3	副指導:1名	
1	卒業研究	2018.4～2019.1	指導:4名	

(5)その他				
1	体験学習① 地域高齢者自主グループ「骨粗鬆症と転倒予防教室」支援活動	2018.4-2019.3	地域高齢者の約20名の3つの自主グループ「骨粗鬆症と転倒予防教室」に、平成28年度(現在に至る)から4、5名の学生(希望者)と共に4月～9月まで計5回参加し、高齢者の保健行動、健康観等の把握と年1回体力測定の補助を通して身体機能維持、向上に関する学習機会を持った。	
2	体験学習② 生活介護事業所「そよかぜの森」(草加市社会福祉事業団)	2018.4	在宅の知的障がい者、重症心身障がい者の生活支援の実際を体験し、在宅支援観や障がい観等を養うため、年1回(4時間/回)、学生4名(希望者)と共に、施設長講義、施設見学、日常生活上の支援、創作活動や生産活動等の補助を実施した。	
3	埼玉県立大学老年看護学実習指導者会議	2019.3	老年看護学実習Ⅱ指導の実施報告を行い、臨地実習指導者や教員間にて課題を共有、検討した。	
3	東武医学技術専門学校 特別講義「看護学(看護の世界について)」2コマ	2019.3	臨床検査技師養成校の1年生50名を対象に、左記テーマをもとに、看護の理論、看護の実践、看護の教育について講義した。	
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	平成30年度看護学生実習指導者講習会	公益社団法人埼玉県看護協会埼玉県看護協会	老年看護学実習の展開	2018.6
2	平成30年度介護支援専門員更新・再研修	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践	2018.6
3	平成30年度越谷市シルバーカレッジ講義	越谷市	看護の知恵でからだを労わり暮らしを豊かに～老年期の健康～	2018.9
4	平成30年度介護支援専門員実務研修	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践	2019.1
5	埼玉県立越谷西高等学校出張講座	埼玉県立越谷西高等学校	「高校生のための看護学入門」	2018.10
(2)国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	北里大学同窓会埼玉県支部	評議員		2017.4-2019.3
2	社会福祉法人インクルふじ生活介護事業所であら〜と(静岡県富士市)	第3者委員		2003.6-2019.3
3				
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
2				
5. 学内運営(委員会委員)				
1	ハラスメント委員			
2				
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			

8. 特記事項	
1	9月、山口大学大学院医学系研究科 地域・老年看護学講座助教 兼 同博士後期課程在籍の院生が来学し、院生の博士論文について助言した。
2	SPU「保健医療福祉科学」査読(主査)、研究報告1編の査読(主査)を担当した。2018.12-2019.2